

都市再生整備計画 事後評価シート

新南陽駅周辺地区
(地方都市リノベーション事業)

平成28年3月

山口県周南市

様式2-1 評価結果のまとめ


都道府県名	山口県		市町村名	周南市		地区名	新南陽駅周辺地区		面積	60ha		
交付期間	平成24年度～27年度		事後評価実施時期	平成27年度		交付対象事業費	2,873.8 国費率		0.493			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
			基幹事業	高質空間形成施設(シンボルロード整備事業、宮の前線整備事業)、地域生活基盤施設(案内板設置)、高次都市施設(学び・交流プラザ建設事業)								
	当初計画から削除した事業		提案事業	地域創造支援事業(学び・交流プラザ(図書館、武道場等機能)建設事業、案内標識設置)、事業活用調査(事業効果分析)								
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	新たに追加した事業		基幹事業	地域生活基盤施設(案内板設置)			関連事業(市単独事業)に変更			影響なし		
			提案事業	地域創造支援事業(学び・交流プラザ(図書館、武道場等機能)建設事業、案内標識設置)、事業活用調査(事業効果分析)			制度拡充(地方リノベーション事業移行)により基幹事業又は効果促進事業に移行したため			影響なし		
	交付期間の変更		当初	平成24年～27年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響						
変更			なし									
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	学び・交流プラザの利用者数	人/年	317,234	H22	320,000	H27	328,308	○	あり なし	図書館やホール機能を合築した複合施設にしたことにより相乗効果が得られ、市内からの利用者・交流人口が増えた。	H28.4月以降
	指標2	学び・交流プラザの定期利用団体数	団体	126	H23	135	H27	133	△	あり なし	本市の生涯学習・コミュニティ活動及び市民交流の活動場所となる複合施設が完成し、以前活動していた団体が戻るとともに、新たな団体が増えつつある。	H28.4月以降
指標3	歩行者交通量	人/日	492	H23	500	H27	519	○	あり なし	複合施設の完成と土地区画整理事業の整備等が相互に作用し、歩行者通行量が増加した。		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標1											
その他の数値指標2												
4) 定性的な効果発現状況	供用開始から半年以上が経過し、中規模の多目的ホールや交流アリーナ、武道場、地区の図書館や多目的な用途で活用されている交流室が備わった複合施設として、多くの利用者が来館され、多世代・多目的な交流と賑わいが生まれている。エントランスなどの共用スペースにおいても、学生の学習空間としても活用され、また来館された方の憩いの場、新たな関心を生み出す場としても効果が表れていると感じる。											
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	(仮称)学び・交流プラザ基本構想の説明や地域審議会、社会教育委員会議、地元コミュニティ団体等と協議を重ね、意見を集約し計画を策定した。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 市民交流の拠点として、地域の公共的団体や施設利用団体からなる協議会をつくり、まちづくりやソフト事業について意見を取り入れ、地域に活力と賑わいの創出を図っていく。			
	持続的なまちづくり体制の構築	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

様式2-2 地区の概要

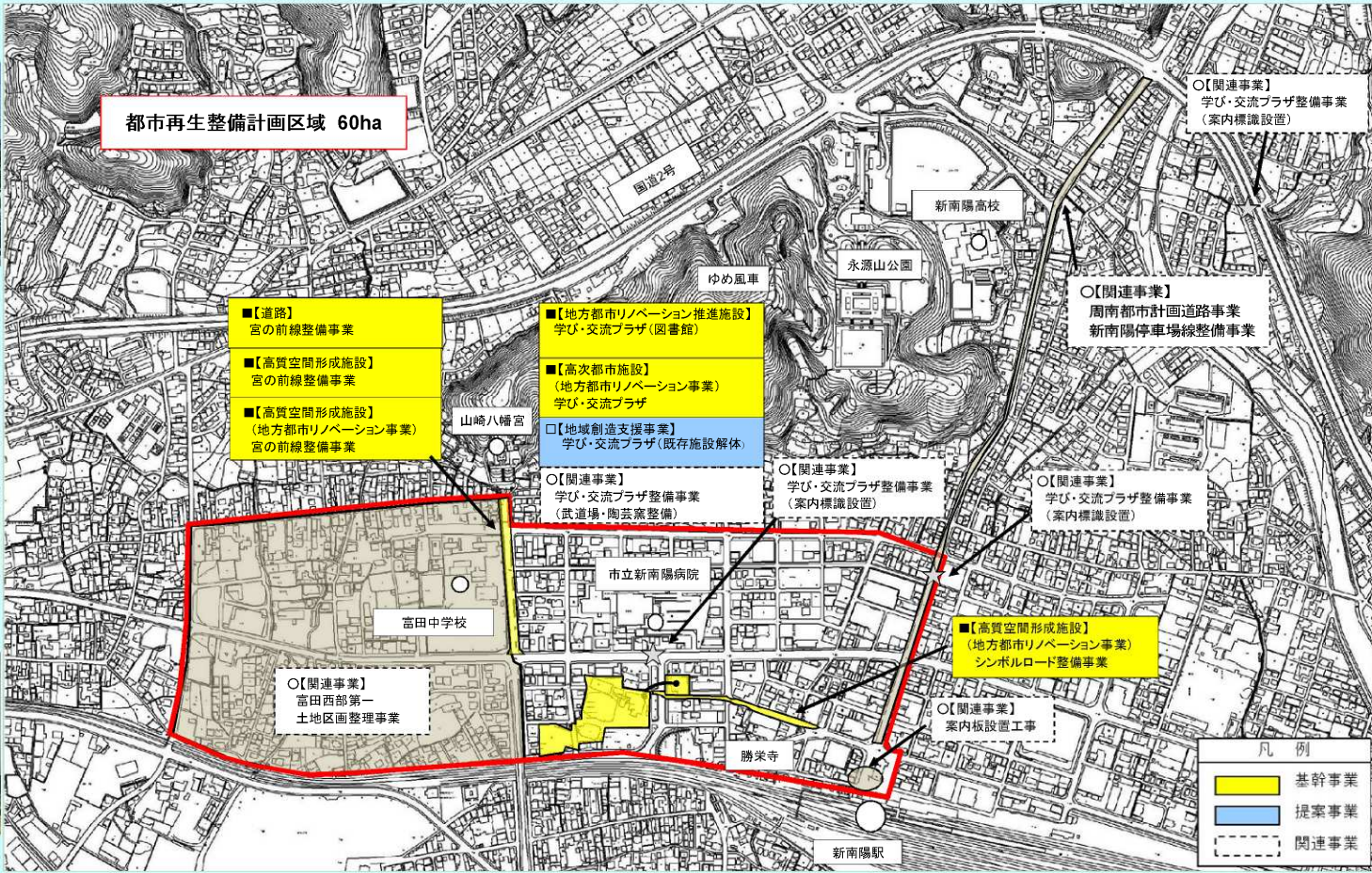
新南陽駅周辺地区(山口県周南市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:多機能を有する複合施設を核とした、世代間の交流と賑わいの創出	学び・交流プラザの利用者数	単位:人/年	317,234	H22	320,000	H27	328,308	H27
・目標1:「つどい、学び、育む 人とまちの創造拠点」となる、学び・交流プラザの整備による地域都市拠点の核づくり	学び・交流プラザの定期利用団体数	単位:団体	126	H23	135	H27	133	H27
・目標2:周辺環境と調和した、良質な景観の創造	歩行者交通量	単位:人/日	492	H23	500	H27	519	H27
・目標3:公共施設、住環境、歴史・文化施設の連携による地域活力の向上								


宮の前線整備事業




都市再生整備計画区域 60ha



学び・交流プラザ




地方都市リノベーション推進施設 (新南陽図書館)



凡例

- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業

シンボルロード整備事業



まちの課題の変化	既存施設の建替として、図書館等を内在した複合施設である周南市学び・交流プラザの完成により、多目的かつ多世代の交流が図られた。宮の前線の道路整備や景観整備により、歴史性に配慮されたまちなみ景観が形成され、周南市学び・交流プラザ、商業施設、駅への新たな交流動線が生まれた。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・区域西側は土地区画整理事業が施行中で、居住者も増加しており、コミュニティ活動の核となるように、学び・交流プラザにおいても若い世代から高齢者といった多世代が集えるような事業の充実を図り、活気のあるまちづくりを推進していく。 ・公共交通の利便性を活かし、周南市学び・交流プラザをコンベンションの受入先施設として推進することで、市内外からの多くの来街者呼び込み、新たな市民交流を促し、地域に活力と賑わいを創出していく。 ・複合施設の利用者増加に伴う駐車場の混雑を解消するため、公共交通機関の利用促進を図るとともに、周辺の公共施設と連携することで駐車場を確保するなどの対応を図る。